

白馬村
橋梁長寿命化修繕計画
(第3期)

令和6年(2024年) 3月 作成

令和8年(2026年) 3月 改定



白馬村 橋梁長寿命化修繕計画 目次

1.	背景と目的.....	1
1.1	管理施設状況.....	1
1.2	計画の目的.....	2
1.3	対象施設.....	3
1.4	修繕等措置の着手状況.....	4
1.5	健全性の判定区分の割合.....	6
2.	老朽化対策における基本方針.....	7
2.1	基本的な方針.....	7
2.2	計画期間.....	7
2.3	対策の優先順位の考え方や目標.....	7
3.	新技術等の活用方針.....	8
3.1	新技術等の活用に関する考え方.....	8
3.2	短期的な数値目標とコスト削減目標.....	8
3.3	点検・調査段階における活用への取り組み.....	9
3.4	設計・工事段階における活用への取り組み.....	11
4.	費用の削減に関する具体的な方針.....	12
4.1	費用削減を図るための考え方や取り組み.....	12
4.2	費用の削減目標.....	13
4.3	集約化・撤去、機能縮小に関する方針.....	14
5.	事業計画一覧.....	15

1. 背景と目的

1.1 管理施設状況

令和6年(2024年)3月現在、白馬村が管理する道路橋(橋長2.0m以上の橋)は全107橋あります。2023年時点で建設後50年を経過する道路橋は17橋(16%)ですが、10年後には58橋(54%)と半数以上となるため、老朽化に伴う維持修繕費用も増加することが想定されます。そのため、現在から計画的に維持管理を実行していくことが必要とされています。

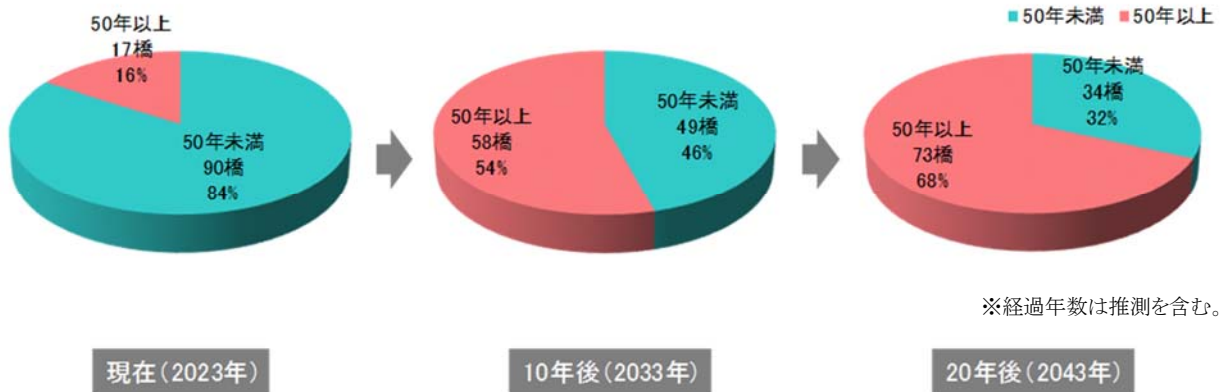


図 1.1 道路橋の経過年推移

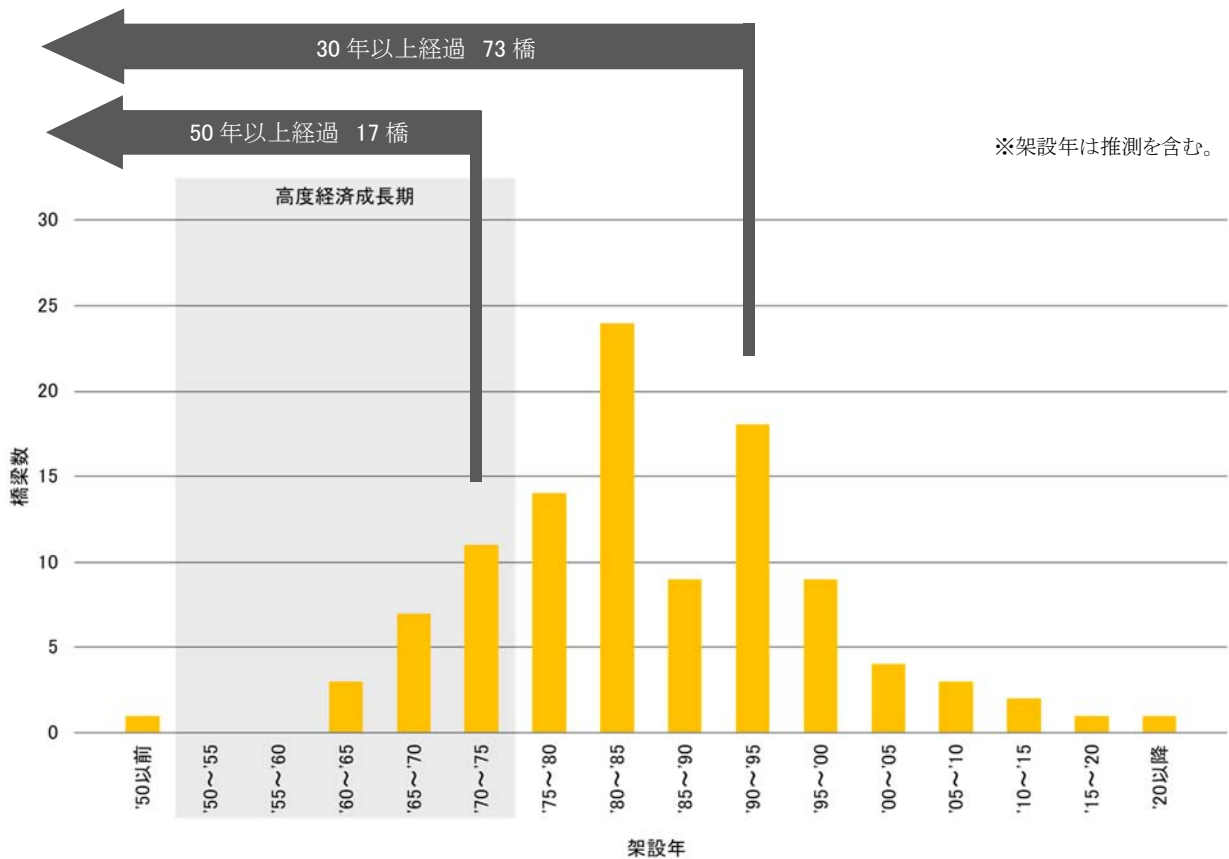
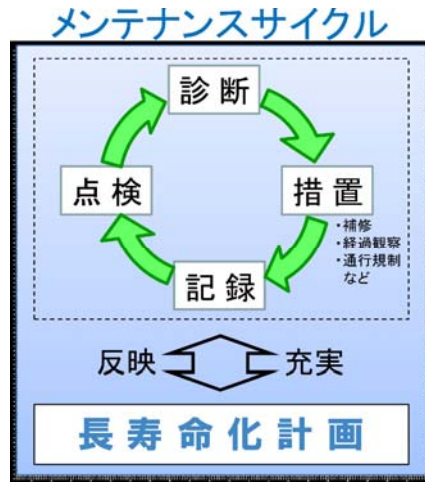


図 1.2 架設年別橋梁数

1.2 計画の目的

急速に進む施設老朽化に対応するため、戦略的なインフラの維持管理・更新が必要求められている現状を踏まえ、長寿命化修繕計画の策定を行い、持続可能なメンテナンスサイクルの実現を目指します。



【出典：国土交通省公表資料】

本計画では、前回「白馬村 橋梁長寿命化修繕計画(H30.3)」策定後の定期点検が一巡したことに伴い、最新の施設状態を用いて長寿命化修繕計画の見直しを行います。

予防的な修繕および架け替えを計画的に推進することにより、「橋梁の延命化と補修・架替え費用の縮減」、「計画的な予算確保」、「道路ネットワークの安全性及び信頼性の確保」を図ることを目的とします。

1.3 対象施設

計画対象施設は、全管理道路橋 107 橋とします。

表 1.1 計画対象施設

管理道路橋	107 橋
うち、長寿命化修繕計画の策定施設数	107 橋
うち、前回策定対象施設数	107 橋

【備考】

特になし

1.4 修繕等措置の着手状況

下図には、前回計画策定以降におけるメンテナンス事業の執行状況を示します。

白馬村では、前回点検にて早期措置段階(健全性Ⅲ)及び緊急措置段階(健全性Ⅳ)となった橋に対し、優先的かつ計画的な対策を着実に行ってきました。

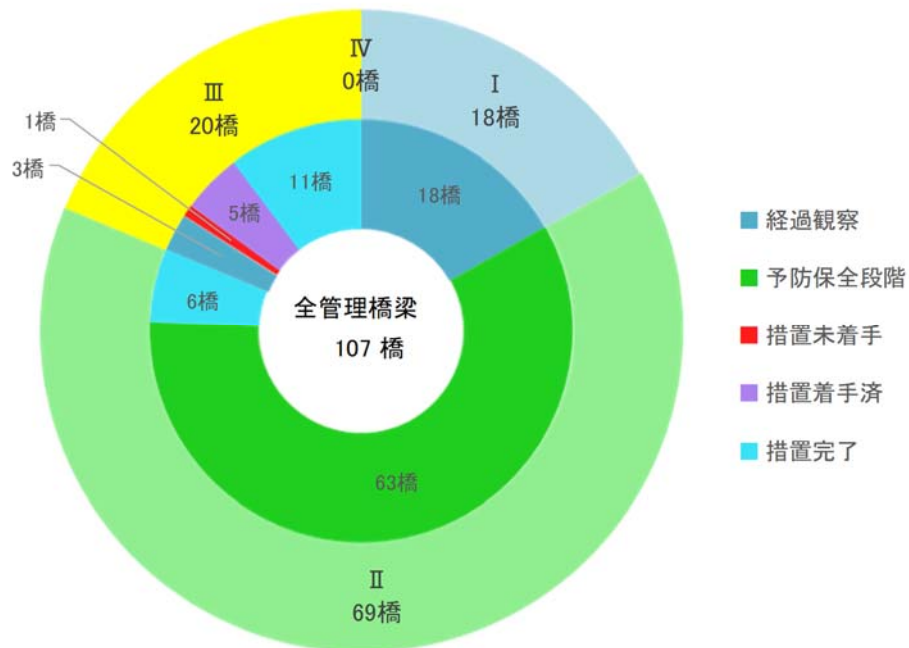


図 1.3 前回点検判定区分と措置実施状況

以降には、修繕等措置により健全性が向上した代表事例を示します。

前回点検 判定区分Ⅲ

橋梁番号 114 木流 2 号橋

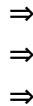
前回定期点検
(2017 年 11 月 17 日)

措置状況
(2020 年 12 月 竣工)

【舗装】

大型車交通や頂版土被りが小さいことが原因で、アスファルト舗装に轍掘れや網状ひびわれ、桁下面への著しい漏水を確認したため、早期措置段階(判定区分Ⅲ)と判断。

プレキャストボックスカルバート架替により、健全性が回復。



橋梁番号 30 姫川通橋

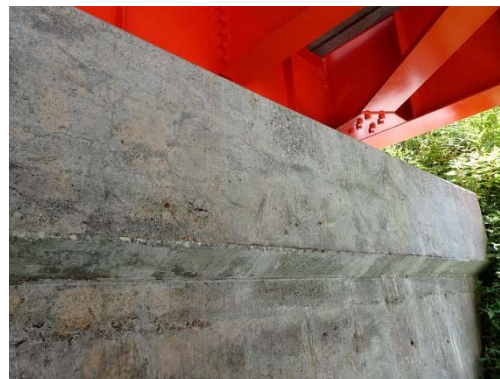
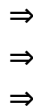
前回定期点検
(2017 年 1 月 10 日)

措置状況
(2021 年 10 月 竣工)

【下部工】

遊離石灰の析出を伴う著しいひび割れがみられることから、早期措置段階(判定区分Ⅲ)と判断。

断面修復やひび割れ補修により、健全性が回復。



1.5 健全性の判定区分の割合

直近における定期点検結果を以下に示します。

白馬村では、令和元年(2019年)度～令和4年(2022年)度の4年間で、全管理橋107橋の定期点検を「長野県 道路橋定期点検要領(令和元年10月)」(長野県 建設部 道路管理課)に基づき実施しました。

前回点検後の修繕等措置により健全度が回復した橋梁もありますが、劣化が進行したことで新たに早期措置段階(判定区分Ⅲ)10橋が確認されています。

特に健全性の低下した施設は、安心・安全な道路ネットワーク確保のため、早急に修繕等措置を行う必要があります。

I	(健全)	18橋	(17%)
II	(予防保全段階)	79橋	(74%)
III	(早期措置段階)	10橋	(9%)
IV	(緊急措置段階)	0橋	(0%)
合計		107橋	(100%)

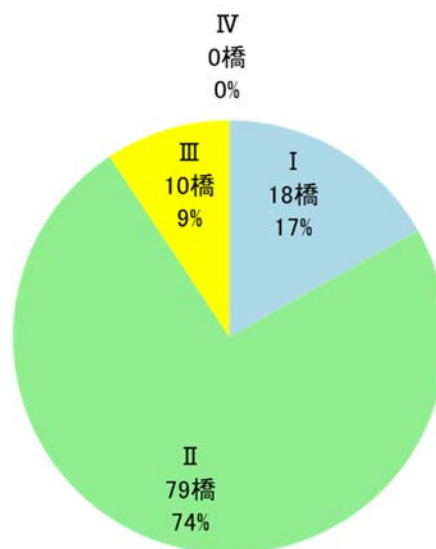


図 1.4 健全性の判定区分の割合

長野県 道路橋定期点検要領

令和元年10月
長野県 建設部 道路管理課

区分	状態(定義)	措置の考え方
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	監視や対策を行う必要のない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障を生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	早期に監視や対策を行う必要がある状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に対策を行う必要がある状態。

【出典：長野県 道路橋定期点検要領 令和元年10月(長野県 建設部 道路管理課) p.7】

2. 老朽化対策における基本方針

2.1 基本的な方針

2.1.1 健全度の把握

「長野県 道路橋定期点検要領(令和元年10月)」(長野県 建設部 道路管理課)に準じた定期点検を、5年に1回を目安に実施し、道路橋毎に4段階(I・II・III・IV)の健全性の診断を行います。診断結果は、定期点検が一巡した段階で見直す長寿命化修繕計画に反映します。

2.1.2 日常的な維持管理

日常的な道路パトロールにより異常の早期発見に努めるとともに、以下のような小規模な維持作業を随時実施します。

- ・ 橋面の清掃
- ・ 排水受け付近の堆積土砂撤去
- ・ 排水管の清掃

2.2 計画期間

本計画では、次回点検が完了するまでの**令和6年(2024年)～令和10年(2028年)**の5年間を計画期間とします。

以降は5年に1回を目安で行う定期点検の結果を反映し、随時計画の見直しを行います。

2.3 対策の優先順位の考え方や目標

2.3.1 優先順位の考え方

直近の定期点検にて緊急措置段階(判定区分IV)あるいは早期措置段階(判定区分III)と診断された橋梁は、橋の機能や性能に多大な影響を及ぼしかねない変状が生じていることから、今後5年計画の中でも最優先で措置を実施します。

優先措置が完了する段階から、供用条件や橋梁規模などの社会的重要性の高い施設から優先して、管理目標に基づく予防保全型管理を行います。

2.3.2 予防保全型の維持管理

全107橋に対して「予防保全型」維持管理を行うものとし、構造物の健全性が判定区分IIを下回らないよう、損傷が軽微な段階でこまめなメンテナンスを行うことを目標とします。

これにより、道路ネットワークにおける安全性及び信頼性の確保に努めます。

3. 新技術等の活用方針

3.1 新技術等の活用に関する考え方

維持管理においては、品質の向上や効率化、コスト縮減を図ることを目的に、積極的に新技術を活用することが推進されています。

そこで、定期点検や詳細調査においては国土交通省「点検支援技術 性能カタログ」、補修設計及び工事においては NETIS(新技術情報提供システム)に掲載される新技術の活用検討を必須とし、作業の省力化や費用の縮減に努めます。



【ウェブサイト: <https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/inspection-support/>】



【ウェブサイト: <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>】

3.2 短期的な数値目標とコスト縮減目標

白馬村では、点検・調査、修繕等工事を実施していく全管理橋梁 107 橋に対し、従来技術・従来工法との比較検討を実施しつつ、新技術・新工法の活用検討を実施します。

短期的な数値目標としては、令和 6 年(2024 年)度から令和 10 年(2028 年)度までの今後 5 年間において、500 万円程度のコスト縮減を目標とします。

3.3 点検・調査段階における活用への取り組み

3.3.1 検討フロー

点検・調査段階においては、下図フローに基づき活用検討を行います。

なお、実際の活用に際しては、点検業務発注後の業務計画にて新技術等活用の有用性について詳細検討を行うものとします。

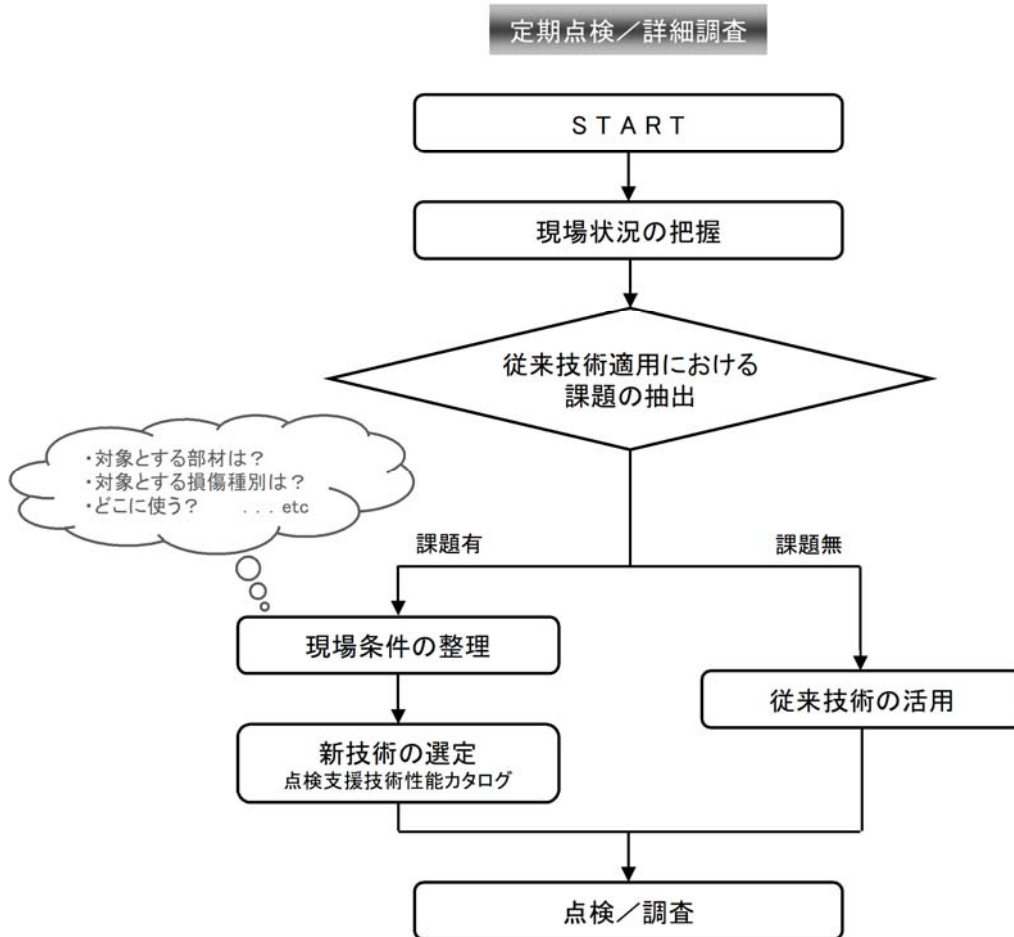


図 3.1 定期点検／詳細調査における新技術等の活用検討フロー

3.3.2 活用検討事例

(1) 桁下空間が狭隘な橋梁への技術活用

桁下空間が狭隘する橋梁は、点検作業員の安全性確保及び作業効率の向上に検討が必要とされていることから、新技術の活用が見込まれます。

表 3.1 新技術活用の対象施設

整理番号	橋梁番号	橋梁名	路線		橋長 (m)	幅員 (m)	
			種別	名称			
1	3	6	深空野7号橋	その他	2104号線	3.0	14.7
2	5	10	真群小橋	その他	3134号線	3.0	2.9
3	6	11	北堰橋	1級	0106号線	2.1	4.9
4	23	34	深空野9号橋	2級	0213号線	2.8	7.4
5	34	45	木流6号橋	その他	1042号線	3.5	9.8
6	50	71	深空野11号橋	その他	2102号線	2.0	3.8
7	51	73	小二枚田橋	その他	2111号線	2.0	10.0
8	54	86	深空野12号橋	その他	2164号線	3.2	4.2
9	55	87	深空野4号橋	その他	2169号線	4.0	5.0
10	56	88	深空野13号橋	その他	2169号線	2.9	4.9

整理番号	橋梁番号	橋梁名	路線		橋長 (m)	幅員 (m)	
			種別	名称			
11	57	89	深空野5号橋	その他	2170号線	2.3	3.8
12	58	90	深空野6号橋	その他	2170号線	3.6	3.8
13	59	91	深空野10号橋	その他	2182号線	3.0	4.9
14	60	92	深空野14号橋	その他	2183号線	3.1	4.7
15	61	93	深空野15号橋	その他	2184号線	2.3	3.8
16	66	113	高校上橋	その他	3105号線	2.5	3.9
17	71	121	諏訪神社前橋	その他	2148号線	3.0	2.5
18	73	124	松川北分離橋	その他	3142号線	7.6	5.9
19	74	124	松川北分離歩道橋	その他	3142号線	8.6	3.3

【技術事例】

MCSを使った橋梁撮影3D



3.4 設計・工事段階における活用への取り組み

設計・工事段階においては、下図フローに基づき活用検討を行います。

なお、選定する新技術・新工法は橋の規模や変状程度に応じ、従来技術・従来工法との比較検討を実施しつつ、橋毎に最適な工法を選定します。

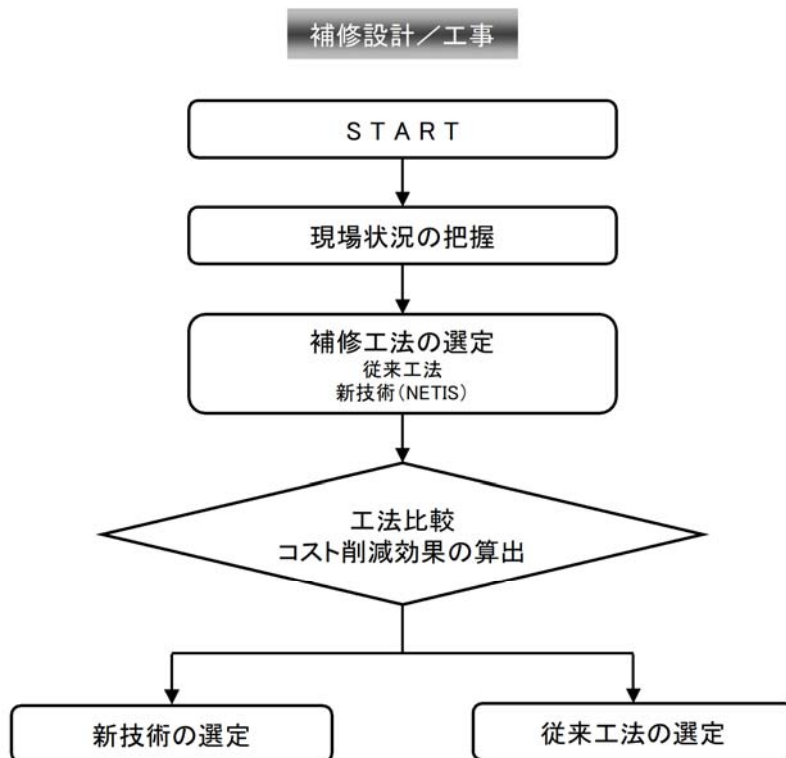


図 3.2 補修設計／工事における新技術等の活用検討フロー

4. 費用の縮減に関する具体的な方針

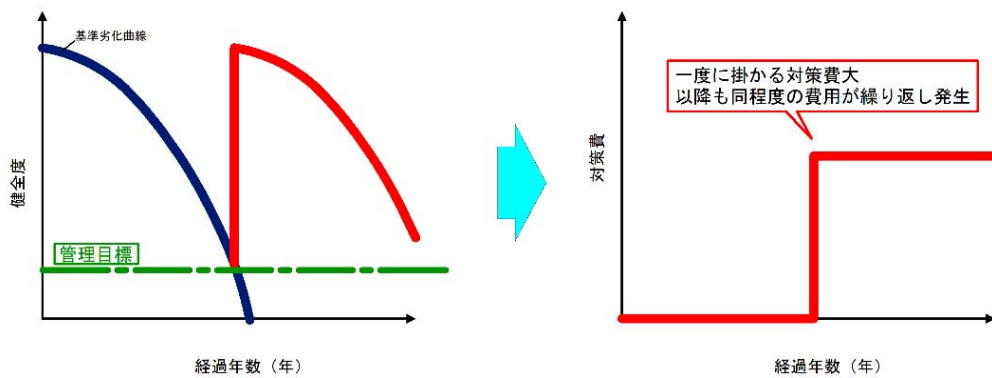
4.1 費用縮減を図るための考え方や取り組み

従来計画と同様、「予防保全型」維持管理の継続により、橋梁メンテナンス事業の効率化及びコスト縮減を目指します。

※ 対症療法型 と 予防保全型

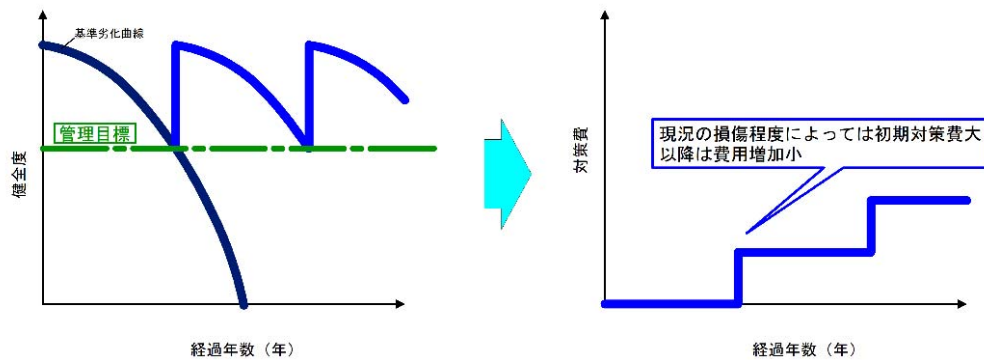
【対症療法型】

長寿命化修繕計画策定以前の一般的な維持管理手法で、使用上の問題が発生した時点でその都度対策を行う。



【予防保全型】

初期の損傷が軽微な段階で、効果の大きい長寿命工法を用いて対策を行い、のちの発生費用を抑える。



4.2 費用の縮減目標

予防保全による維持管理と対症療法による維持管理による、今後 50 年間の事業費試算を示します。
 長寿命化修繕計画に基づく予防保全型維持管理を行うことで、今後 50 年間でおよそ 20 億円（約 15%）
 のコスト縮減効果が見込まれます。

また、予防保全によるこまめなメンテナンスにより、施設長寿命化の実現とともに、道路の安全性及び信頼性を確保できることが最大のメリットです。

対症療法型	134.9 億円
－ 予防保全型	114.6 億円
縮減効果	20.3 億円
	(約 15%)

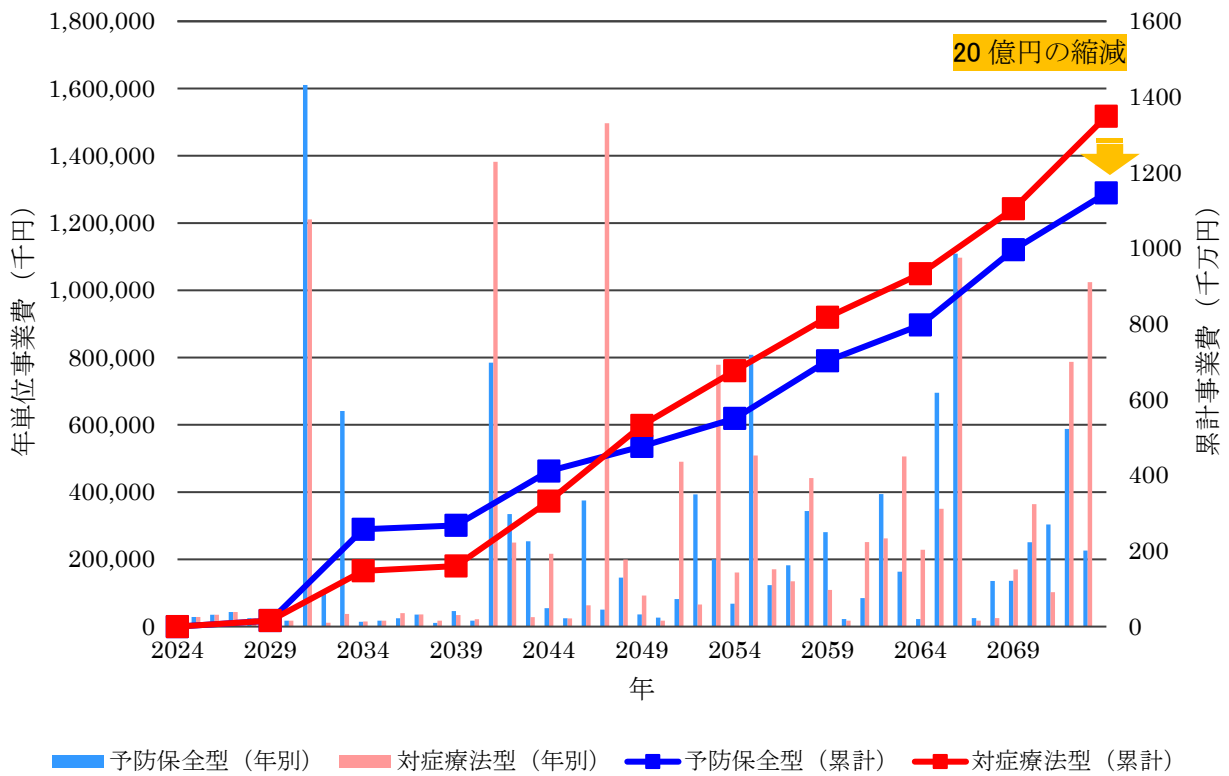


図 4.1 50 年後のコスト縮減効果

4.3 集約化・撤去、機能縮小に関する方針

4.3.1 背景・目的

将来的に増大が見込まれる老朽化対策費用の財源確保が課題となっている中、対策の一つとして地域の実情や利用状況に応じて集約・撤去を選択肢とすることが、長期的な視点で見た際にはコスト縮減における有効な手段となりえます。

また集約・撤去への取り組みにより、人口減少に伴う担い手不足に起因した管理負担の軽減が見込まれ、最大のメリットといえる「落橋による事故の危険性」の排除による利用者の安全性確保に期待ができます。

そこで、集約化・撤去、機能縮小の対象施設の検討を行っていくものとします。

表 3-1 集約・撤去の事業内容

事業内容	概要	イメージ図	
		Before	After
単純撤去	迂回路整備を伴わない、橋梁の撤去		
撤去＋迂回路整備	撤去に加え、撤去する橋梁の迂回路となる経路に対する整備を実施		
ダウンサイジング	既設縮小化	既設の車道橋を活用し人道橋等にリニューアル	
	新設縮小化	既設の車道橋を撤去し、人道橋として架替を実施	
複数橋梁の集約	隣接する複数橋梁を撤去し、機能を集約した橋梁を新設		

【出典：道路橋の集約・撤去事例集 R5.4 国土交通省 道路局】

4.3.2 検討フロー

橋の集約・撤去に当たっては、下記フローに基づき検討を行います。

なお事業化に際しては、地域の実情や利用状況の把握を行い、利用者・住民との合意形成を行うことを前提とします。

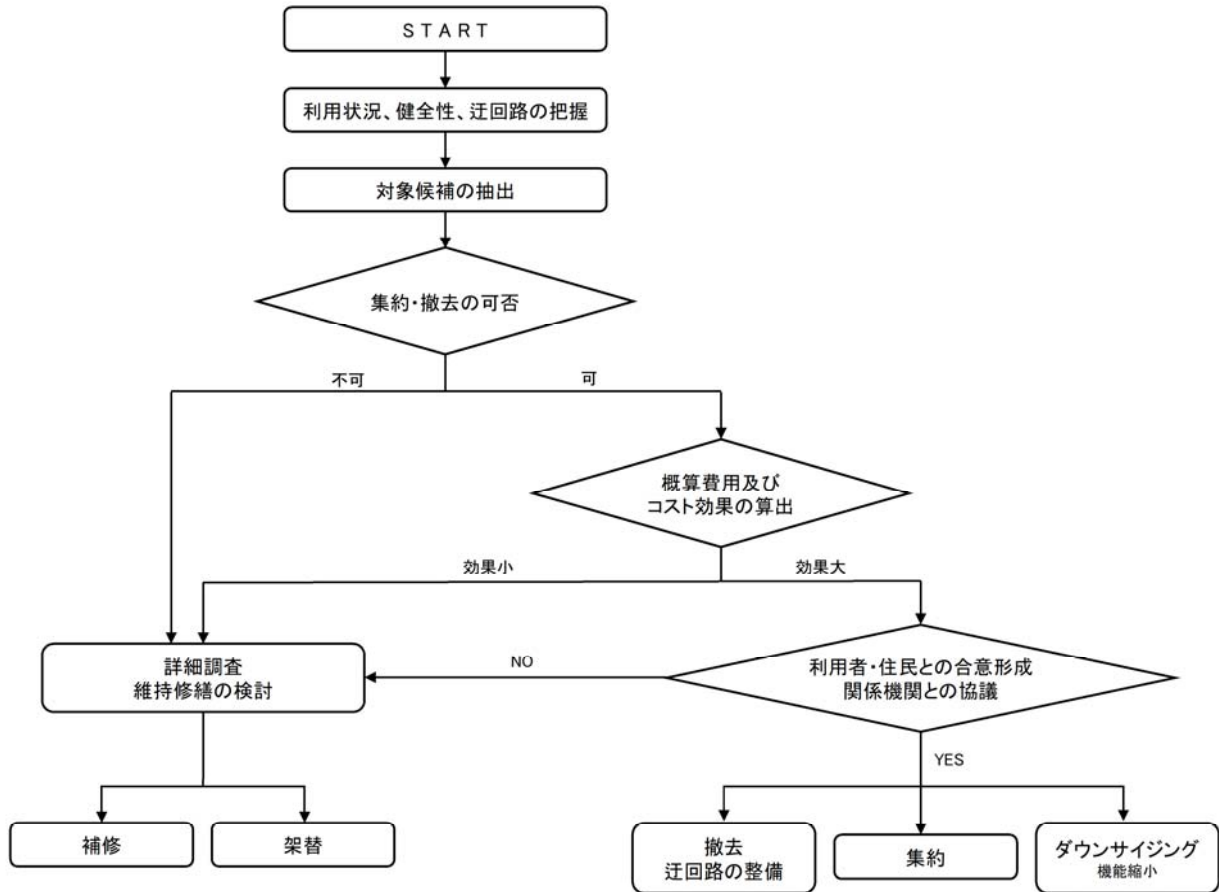


図 4.2 集約化・撤去の検討フロー

4.3.3 短期的な数値目標

白馬村では、全管理橋梁 107 橋のうち 1 橋を「将来的に集約・撤去に向かう橋梁」と位置付け、今後利用者・住民との合意形成を図りながら、集約化・撤去へ向けた詳細検討を目標とします。

令和 16 年度までに修繕費 1000 万円の削減を見込んでいます。

5. 事業計画一覧

以降には、令和 6 年(2024 年)度から令和 10 年(2028 年)度までの今後 5 年間における橋梁メンテナンス事業に係る事業計画一覧を示します。

事業計画一覽

白馬村 橋梁長寿命化修繕計画 目次

1.	背景と目的.....	1
1.1	管理施設状況.....	1
1.2	計画の目的.....	2
1.3	対象施設.....	3
1.4	修繕等措置の着手状況.....	4
1.5	健全性の判定区分の割合.....	6
2.	老朽化対策における基本方針.....	7
2.1	基本的な方針.....	7
2.2	計画期間.....	7
2.3	対策の優先順位の考え方や目標.....	7
3.	新技術等の活用方針.....	8
3.1	新技術等の活用に関する考え方.....	8
3.2	短期的な数値目標とコスト縮減目標.....	8
3.3	点検・調査段階における活用への取り組み.....	9
3.4	設計・工事段階における活用への取り組み.....	11
4.	費用の縮減に関する具体的な方針.....	12
4.1	費用縮減を図るための考え方や取り組み.....	12
4.2	費用の縮減目標.....	13
4.3	集約化・撤去、機能縮小に関する方針.....	14
5.	事業計画一覧.....	15

白馬村 橋梁メンテナンス事業計画一覧

凡例

橋毎の健全性の診断区分

I 判定 (健全)
II 判定 (予防保全段階)
III 判定 (早期措置段階)
IV 判定 (緊急措置段階)

- ※ 対策内容は計画初年度より直近5年分を示します。
- ※ 本計画は予定であり、予告なく変更の可能性があります。
- ※ 赤字は推測値を表します。

[上段] 対策内容
[下段] 概算工事費 (千円)

橋梁番号	橋梁名	路線名	架設年度	橋長 (m)	直近の定期点検		直近点検後の措置状況	対策の内容・時期						
					実施年度	健全性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)		
年度別概算事業費(千円)								24,716	28,726	35,464	46,395	25,042		
橋梁長寿命化修繕計画策定													5,000	
159	瀬戸橋	村道 3091号線	1978	14.6	2022	III	通行止		点検 729					
10	真畔小橋	村道 3134号線	1972	3.0	2022	III			架替 5,000		点検 208			
44	こけいど橋	村道 1041号線	1981	7.5	2020	III	修繕完了	点検 262						
39	三幸橋	村道 1009号線	1981	11.4	2022	III				設計 6,156	舗/桁/下 5,452	点検 399		
115	木流3号橋	村道 3111号線	1972	4.0	2022	III	架替完了	架替 5,000	点検 118					
28	久保頭橋	村道 (2級)0206号線	1963	12.5	2022	III	修繕完了	舗/桁/下 12,800	点検 828					
36	屋代沢1号橋	村道 (2級)0216号線	1973	3.5	2022	III	修繕完了			点検 139				
108	薪寄橋	村道 3054号線	1985	30.0	2022	III	修繕完了		点検 986					
158	犬川橋	村道 1073号線	1978	16.5	2022	III	修繕完了			点検 174				
59	與惣司橋	村道 1093号線	1972	10.5	2022	III				舗/桁 6,830	点検 371			
3	曲沢4号橋	村道 (1級)0103号線	1970	9.5	2022	III			点検 138		舗/桁 3,000			
25	蕨平橋	村道 (2級)0204号線	1970	38.2	2022	II			点検 1,032	設計 8,281	舗/桁/下 26,562			
26	水神宮橋	村道 (2級)0206号線	1981	150.0	2019	II		点検 2,927						

橋梁 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	直近 の点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期						
					定期 実施 年度	健全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)		
年度別概算事業費(千円)								24,716	28,726	35,464	46,395	25,042		
119	白馬大橋	村道(1級)0105号線	1986	140.0	2022	II		点検 1,745						
146	白馬オリンピック大橋	村道(1級)0105号線	1994	111.6	2022	II			点検 1,752					
135	おおべえし橋	村道 2147号線	1995	18.2	2022	II		点検 898			設計 5,496	舗/桁/下 4,677		
136	やちはら橋	村道 2203号線	1995	64.0	2022	II					点検 2,171	設計 7,868		
8	大楢2号橋	村道 2202号線	1995	7.6	2022	II					点検 267	設計 7,497		
24	下河原大橋	村道(2級)0203号線	1987	53.8	2022	II		点検 1,135						
38	滝沢橋	村道(2級)0218号線	1981	11.8	2022	II			点検 357					
27	菅沢橋	村道(2級)0206号線	1972	21.8	2022	II		点検 970						
31	清水沢橋	村道(2級)0211号線	1963	5.9	2022	II					点検 234			
37	鳴沢4号橋	村道(2級)0216号線	1972	7.2	2022	II			点検 210					
132	細野橋	村道(1級)0105号線	1993	14.0	2022	II					点検 565			
78	大楢3号橋	村道 2144号線	1981	6.4	2022	II					点検 234			
30	姫川通橋	村道(2級)0208号線	1971	65.0	2022	II		点検 1,135						
91	深空野10号橋	村道 2182号線	1980	3.0	2022	II					点検 155			
14	向田2号橋	村道(1級)0107号線	1970	2.5	2022	II					点検 155			
11	北堰橋	村道(1級)0106号線	1962	2.1	2022	II		点検 88						
2	佐野沖橋	村道(1級)0101号線	1996	24.7	2022	II			点検 885					
15	大楢5号橋	村道(1級)0107号線	1977	10.2	2022	II					点検 399			
127	森上跨線橋	村道(2級)0206号線	1992	13.5	2022	II		点検 272						

橋梁 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	直近の 点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期				
					定期 実施 年度	健全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
年度別概算事業費(千円)								24,716	28,726	35,464	46,395	25,042
148	上小田原橋	村道 3149号線	1996	71.6	2022	II			点検 1,529			
34	深空野9号橋	村道 (2級)0213号線	1974	2.8	2022	II				点検 155		
55	大川橋	村道 1082号線	1994	28.5	2022	II			点検 1,024			
18	谷地川橋	村道 (2級)0201号線	1995	17.3	2020	II	点検 962					
12	大楢橋	村道 (1級)0106号線	1977	11.0	2020	II	点検 445					
157	下小田原橋	村道 3149号線	1996	5.1	2022	II			点検 70			
139	飯森1号橋	村道 1118号線	1996	5.0	2020	II	点検 198					
140	飯森2号橋	村道 1058号線	1996	4.0	2020	II	点検 87					
40	田頭橋	村道 1010号線	1977	22.7	2022	II			点検 1,541			
6	深空野7号橋	村道 2104号線	1978	3.0	2022	II				点検 166		
52	境橋	村道 1062号線	1977	22.4	2022	II			点検 1,541			
63	鳴沢1号橋	村道 2002号線	1978	8.3	2022	II			点検 210			
13	木流4号橋	村道 (1級)0106号線	1988	5.0	2020	II	点検 185					
143	小谷地川4号橋	村道 (1級)0102号線	1981	4.4	2020	II	点検 75					
71	深空野11号橋	村道 2102号線	1970	2.0	2022	II				点検 155		
49	深空橋	村道 1056号線	1980	94.4	2022	II				点検 778		
145	税地橋	村道 3149号線	1995	17.7	2022	II			点検 322			
17	南沖橋	村道 (2級)0201号線	1996	28.8	2022	II			点検 860			
29	中込橋	村道 (2級)0206号線	1981	13.5	2022	II		点検 240				
152	内川橋	村道 3140号線	1982	35.5	2022	II		点検 791				
16	大楢6号橋	村道 2201号線	1981	10.4	2022	II				点検 399		
43	大左右橋	村道 1028号線	1970	10.0	2022	II	修繕完了			点検 299		

橋梁 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	直近の 点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期				
					定期 実施 年度	健全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
年度別概算事業費(千円)								24,716	28,726	35,464	46,395	25,042
87	深空野4号橋	村道 2169号線	1981	4.0	2022	II				点検 155		
46	木流5号橋	村道 1043号線	1981	3.6	2022	II		点検 88				
86	深空野12号橋	村道 2164号線	1981	3.2	2022	II				点検 155		
92	深空野14号橋	村道 2183号線	1981	3.1	2022	II				点検 155		
114	木流2号橋	村道 3105号線	2020	2.5	2022	II		点検 88				
113	高校上橋	村道 3105号線	1987	2.5	2022	II		点検 88				
65	犬川3号橋	村道 2029号線	1974	16.4	2022	II			点検 418			
124	松川北分離橋	村道 3142号線	1932	7.6	2022	II		点検 132				
42	小谷地川2号橋	村道 1024号線	1973	3.5	2020	II	点検 185					
123	大櫓4号橋	村道 2194号線	1981	9.5	2022	II				点検 245		
32	伊勢宮橋	村道 2201号線	1988	13.7	2020	II	点検 538					
51	姫川橋	村道 1058号線	1995	28.5	2022	II		点検 1,135				
161	大櫓8号橋	村道 2138号線	1988	8.8	2022	II				点検 67		
47	船山橋	村道 1124号線	1997	16.5	2022	II		点検 986				
60	佐野南沖橋	村道 1094号線	1988	15.0	2022	II			点検 382			
147	中小田原橋	村道 3149号線	1996	12.7	2022	II			点検 248			
118	大櫓7号橋	村道 2149号線	1981	4.8	2022	II				点検 155		
45	木流6号橋	村道 1042号線	2004	3.5	2020	II	点検 185					
41	小谷地川橋	村道 1022号線	1984	3.5	2020	II	点検 185					
153	松川大橋	村道 1124号線	2000	130.0	2022	II		点検 1,040				
50	赤坂橋	村道 1057号線	1980	30.2	2022	II		点検 1,001				
62	鳴沢2号橋	村道 2002号線	1974	8.3	2022	II			点検 210			

橋梁 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	直近 定期 実施 年度	点検 健全 性	直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期				
								R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
年度別概算事業費(千円)								24,716	28,726	35,464	46,395	25,042
64	屋代沢2号橋	村道 2008号線	1970	6.9	2022	II			点検 200			
57	屋代沢3号橋	村道 1090号線	1997	4.0	2022	II			点検 149			
88	深空野13号橋	村道 2169号線	1981	2.9	2022	II				点検 155		
35	滝沢2号橋	村道 (2級)0216号線	2013	8.5	2022	II			点検 200			
141	小谷地川3号橋	村道 1120号線	1991	5.1	2020	II	点検 75					
150	柳林橋	村道 1124号線	2004	3.1	2020	II	点検 75					
137	谷地原下橋	村道 2203号線	1995	11.5	2022	II				点検 399		
94	明賀橋	村道 3008号線	1981	5.7	2022	II		点検 132				
151	奈良井橋	村道 2255号線	2002	22.6	2022	II			点検 223			
126	二枚田橋	村道 2129号線	1991	10.5	2022	II				点検 426		
138	咲花橋	村道 2203号線	1981	10.0	2022	II				点検 1,350		
142	鳴沢橋	村道 1098号線	1991	10.0	2022	II			点検 174			
124	松川北分離歩道橋	村道 3142号線	1994	8.6	2022	II		点検 132				
125	楠川橋	村道 3143号線	2015	26.0	2022	I		点検 1,032				
130	赤沢1号橋	村道 3102号線	1993	16.0	2022	I		点検 335				
128	海道沢橋	村道 (1級)0102号線	1994	13.7	2022	I			点検 1,365			
131	赤沢2号橋	村道 3102号線	1981	10.0	2022	I		点検 188				
79	大楢1号橋	村道 2154号線	2005	8.0	2022	I				点検 245		
154	地藏免橋	村道 2026号線	2007	5.6	2020	I	点検 87					
155	田ノ頭橋	村道 2026号線	2007	4.5	2020	I	点検 87					
58	子安橋	村道 1093号線	1976	4.0	2022	I			点検 139			
90	深空野6号橋	村道 2170号線	1981	3.6	2022	I				点検 155		

橋梁番号	橋梁名	路線名	架設年度	橋長(m)	直近の定期実施年度	点検健全性	直近点検後の措置状況	対策の内容・時期				
								R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)
年度別概算事業費(千円)								24,716	28,726	35,464	46,395	25,042
121	諏訪神社前橋	村道 2148号線	1968	3.0	2022	I				点検 155		
89	深空野5号橋	村道 2170号線	1981	2.3	2022	I				点検 155		
93	深空野15号橋	村道 2184号線	1980	2.3	2022	I				点検 155		
73	小二枚田橋	村道 2111号線	2022	2.0	2022	I		点検 88				
129	大左右2号橋	村道 1108号線	1990	8.7	2022	I			点検 220			
134	大槽10号橋	村道 (2級)0212号線	1994	11.0	2022	I				点検 399		
156	タクガ沢橋	村道 2039号線	1988	4.5	2022	I			点検 60			
99	小又川1号橋	村道 3016号線	1981	3.0	2020	I	点検 185					
100	小又川2号橋	村道 3016号線	1977	2.0	2020	I	点検 173					

<凡 例>

点検	5年に1回実施する法定定期点検	
設計	架替や補修の設計	
架替	架替工事	
撤去	撤去工事	
補修工事	舗	橋面工(舗装・伸縮装置・高欄・地覆・排水装置)の補修工事
	桁	橋体工(主桁・横桁・床版・支承)の補修工事
	下	下部工(橋台・橋脚)の補修工事
	舗/桁/下	橋面工、橋体工、下部工の補修工事
	舗/桁	橋面工、橋体工の補修工事
	舗/下	橋面工、下部工の補修工事
	桁/下	橋体工、下部工の補修工事